



# つばさっ子

2015年

12月号



## 今月の行事



4日(金)	18:00~20:00	きりん懇談会
5日(土)	9:00~11:00	ひよこ懇談会+試食会
8日(火)		内科検診
11日(金)	18:00~20:00	ぞう懇談会
18日(金)	10:00	お誕生日会
25日(金)	10:00~	クリスマス会&祖父母交流会
30日(水)	~1月3日まで	休園日

12月22日(木)は全体職員会議です。早めのお迎え・家庭保育のご協力  
よろしくをお願いします。

## 事務室からのお知らせ

### ○保育所申請受付が始まります

受付場所 つばさ共同保育園 事務室

- 12月 7日(月) 午前8:30~午後6:15
- 12月 8日(火) 午前8:30~午後6:15
- 12月 9日(水) 午前8:30~午後6:15
- 12月 10日(木) 午前8:30~午後6:15
- 12月 11日(金) 午前8:30~午後6:15
- 12月 12日(土) 予約のみ ※

※受付が12/13(土)になる方は  
あらかじめ事務室までお知らせください。  
※午後6時以降は延長保育料がかかります。

- ◎簡単な聞き取りがあり書類の提出だけでは  
受付できませんので時間には余裕を  
持ってお越しください。
- ◎『入所理由証明及び申告書』(就労証明)が  
受付日に間に合わない時は、  
『保育所入所継続申立書』だけでも  
受付が可能です。
- ◎受付期間内より申し込みが遅くなった  
場合は、入所優先順位が下がりますので、  
ご注意ください。
- ◎時間帯によってお待たせすることがあります。

○冬休みのアンケート記入よろしくお願いします。

○登降園時は、必ず保育室のネームプレートを裏返すようにしてください。

## みんなのつばさ村(11/1)



# 心揺さぶられることが多い秋でした

仲嶺 真弓

## 【 11月1日(日)「みんなのつばさ村」お疲れさまでした！！ 】

つばさ共同保育園では初の全クラス合同レクリエーション「みんなのつばさ村」が開催されたことは、私にとっては大きく心揺さぶられた出来事でした。

当日はつばさ・アトムの実役家庭、つばさOB家庭、アトム共同福祉会職員など、総勢 250 人以上の参加者で賑わいました。“昭和”のイメージをコンセプトにしたけれど、コーナーを作るにあたり“昭和のイメージ”ってどんなん？ という声も聞かれましたが、当日は昭和歌謡を聞きながら、どこか懐かしい思いで、自分たちの若かりし頃の話をしている保護者のやり取りや、子ども達のとびきりの笑顔もたくさん見られ、そんな光景を見て心が温かくなりました。

開催するにあたり、前日までの準備から当日までほんとうにお疲れ様でした。それぞれの仕事がある中、時間を作って子どもたちのためにと動いてくれている保護者の姿に、職員も微力ながら何かできることをしたいと思いました。お母さんたちが主になって企画出店していた遊びのコーナーでは工夫を凝らした設置の仕方に、こんな方法もあるのかと目から鱗なこともあり驚かされました。主催の“癒るメン”のお父さんたちの頑張りは、見えないところでの作業が多いポジションだったように思います。会場図も、「みんなのつばさ村」の全体イメージがわかりやすいようにと仕事終わりに園にきて数人で話しながら大体の構図を仕上げていました。(仕上げは持ち帰ってしてくれていましたが…)当日は、イベントの雰囲気を感じて間もなく駐車場の整備をしてくれたり、会場にいてもトランシーバー片手に、駐車場要員のお父さんと連携して全体の調節をしてくれたりするお父さんもいました。中には10月からアトムに転園したお父さんも手伝いに来てくれていました。金券作りや会計の集計まで、最後までお疲れさまでした。そしてアトム保護者会のアトムの歴史コーナーでは、アトムの歴史を職員ではなく保護者がつくってくれた保護者目線の掲示物感慨深く読んでいた内に涙が出てきました。姉妹園のアトムの歴史はつばさの歴史でもあります。機会があれば、またじっくり見て知ってほしいと思うと同時に、その歴史の延長上にこの「みんなのつばさ村」がある。新たな歴史の始まりを感じました。

## 【 一足早い卒園式 】

10月末で5歳児クラスに在籍していた園児が家庭事情で退園しました。5歳児の年度途中の退園はあまり経験なく、全員揃っての卒園を見られなくて残念…と思っていたのですが、5歳児クラスの保護者・担任から別々に「園長に相談がある。一足早いけれど、卒園式をやってやりたいねん。」という声がほぼ同時期に聞かれ、園長としても何より嬉しく思いました。その異例の卒園式の時に私からも一言挨拶させてもらいました。以下はその時の挨拶文の一部です。小笹さんへの気持ちは、他の保護者の方にも思う気持ちと変わらないので、このページを借りて、少し伝えておきたいと思いました。

『新米園長の私を支えていただきありがとうございました。そう言うと、きっと小笹さんは「何もしてないよ」と言うと思います。けれど、日々仕事に子育てにと忙しく生活を送っている100家庭以上もの保護者を支えたいという思いを胸に保育園で働く私自身も、私なりにいろいろな人生の壁にぶちあたる毎日で、保護者からの何気ない一言に救われることも多いのです。「仲ちゃん」と呼んでくれる人がいること。(実は「園長先生」と呼ばれるよりも、本人はこちらの方が身近に感じほっこりします。)「どうなっているの?」と疑問はそのまま直接問いかけてくれること。「何か、できることはないか?」と声をかけてくれること。(この2つはとてもありがたい。)人は一人ひとり違ってあたりまえで、立場が違っていると見える景色も違います。だからこそ、その違いを語り合い、理解しあうことで、今以上にすばらしいものを掴むことができると私は思っています。きっと小笹さんもそんな心持でいてくれたから、いろいろなやり取りを重ねることができたのだろうと思っています。そのやり取りの一つひとつが私の心の糧にもなっています。それを胸に、小笹さんが渡米した後も、この地で子どもたちが安心して過ごせるように、新たな仲間をこの熊取の地で育てていきたいと思っています。』

